



平成31年3月29日
中部地方整備局

平成30年度 中部地方整備局入札監視委員会 第二部会第4回定例会議を開催しました

— 審議概要を公表します —

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

第二部会第4回定例会議では、発注工事等の中から抽出した4件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成31年3月18日（月）14時00分～16時00分
場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 小島 沙織 電話 052-209-6316(ダイヤル)
FAX 052-203-9738

別紙1

平成30年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第4回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成31年3月18日(月) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 林 秀弥 (大学院教授) 中村 友昭 (大学院准教授) 加島 光 (弁護士)		
審議対象期間	平成30年10月1日～平成30年12月31日		
抽出案件数	総件数 4 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	0 件	別紙1-2のとおり
	一般競争入札 (政府調達適用外)	2 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件		
建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル	1 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	0 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告は、なし。		

別紙 1 - 2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

期間 平成30年10月1日～平成30年12月31日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成30年度 名古屋港飛島・鍋田ふ頭岸壁舗装補修工事	空港等舗装工事	1	1	11月19日	日本海工(株)	45,900	96.6	
平成30年度 清水港興津岸壁(-10m)(改良)(耐震)上部及び舗装工事	港湾土木工事	1	1	12月26日	(株)古川組	92,880	99.1	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式)

期間 平成30年10月1日～平成30年12月31日

業 務 名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成30年度 津松阪港津地区海岸整備施工方策検討業務	建設コンサルタント等	5	5	11月7日	中電技術コンサルタント(株)	10,107	81.2	

(簡易公募型プロポーザル方式)

期間 平成30年10月1日～平成30年12月31日

業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	技術提案書 の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成30年度 三河港神野地区利便性検討業務	建設コンサルタント等	4	4	12月11日	パシフィックコンサルタンツ(株)	14,796	99.7	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成30年度 名古屋港飛鳥・鍋田ふ頭岸壁舗装補修工事	1者応札であったことに対して、どのような原因分析をしているのか。	2者応募があったが、1者辞退したことにより1者応札となった。応募者が少なかったことについては、供用中の岸壁での施工であり、利用者との調整が必要となること。また、休日、夜間の施工を要することから手間がかかる工事であること。加えて発注規模が小さいことから、応募が控えられたと考えている。
	1者応札に対して、今後どのような改善策が考えられるのか。	今後、発注規模を確保することなどを検討していきたい。
	再度入札を行っているが、潜在的に意欲のある業者もいると思われるなか、再公告は考えなかったのか。	再度入札は制度上認められており、入札説明書にも入札執行回数は2回を限度とすることを記載しているため再度入札を行った。
	本件は適正に処理された。	
2. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成30年度 清水港興津岸壁(-10m)(改良)(耐震)上部及び舗装工事	不調を受けた再公告での発注であるが、再公告にあたり、どのような対応を行ったのか。	企業の実績要件の緩和と等級の見直しを行った。
	発注者として不調、1者応札への対応について考えられることはないか。	全体の施工計画を検討する際に、リスク等を予見しながら発注規模などの施工計画を立てることも重要であると考えている。
	本件は適正に処理された。	

3. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)		
平成30年度 津松阪 港津地区海岸整備施 工方策検討業務	評価点の差はどこでついたのか。	落札した者は、予定管理技術者の経験及び能力が優れていたことにより高い評価点となった。
	本件は、技術力の評価を適正に評価したものと思われる。今後も価格と品質確保とのバランスを適正に評価していただきたい。	引き続き、適正な評価に努めてまいりたい。
	本件は適正に処理された。	
4. 簡易公募型プロポーザル方式(建設コンサルタント業務等)		
平成30年度 三河港 神野地区利便性検討 業務	評価点の差はどこでついたのか。	契約した者は、他者よりも業務内容の理解度、特定テーマに対する技術提案で高い評価を得たものである。
	評価点は参加者に通知されるのか。	個々の参加者に通知はされないが、プロポーザル評価表を契約後に公表している。
	透明性、公平性の観点は重要である。今後も取り組んでいただきたい。	引き続き入札、契約の透明性、公正性に努めてまいりたい。
		本件は適正に処理された。
5. その他		
	なし	